

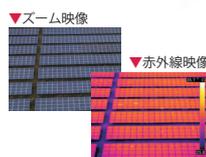
ズームカメラと赤外線カメラを搭載することで、 インフラ点検から三次元地図の作成までを実現。

MATRICE 210 RTKは、国土交通省が推進しているi-Constructionにも対応した、最新の産業用ドローンです。詳細な点検・検査に最適な光学30倍ズームカメラと、50mKの感度を持つ精密で高速な空撮を可能にする赤外線カメラを1台に搭載できるため、インフラ設備の点検・検査などの作業を、細部まで安全に実施でき、コスト削減も実現します。



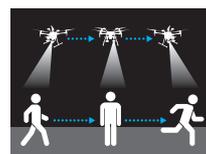
二画面表示を可能に

ズーム映像と赤外線映像を二画面で表示し、インフラ施設の不具合の発見などをスピーディーに行います。



アクティブトラック

画像データを捉えながら、動く被写体を簡単にフレーム内に維持したまま飛行します。



ポイント・オブ・インタレスト

注視したい被写体の周囲を回り、詳細な点検・検査が必要な箇所のデータを取得します。

※X4SとX5Sカメラのみ対応



センサーが自動で障害物を回避

FlightAutonomy(フライトオートノミー)システムの前部、下部、上部に設置されたセンサーが障害物を検知、回避して正確にホバリングします。

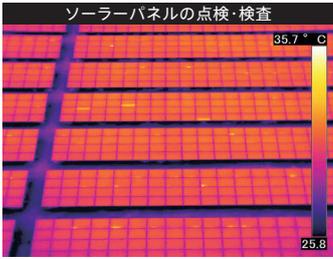


高精度の制御を可能に

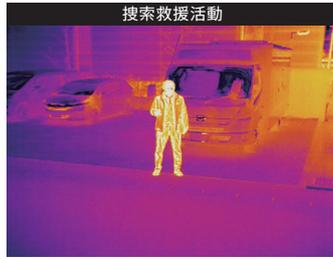
D-RTK GNSS高精度GPSテクノロジーによって、センチ単位での制御が可能になります。



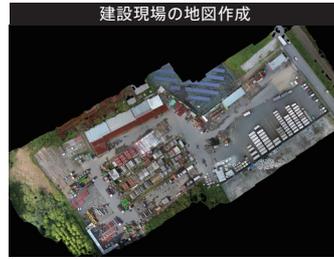
MATRICE 210 RTKは、このような現場に対応します



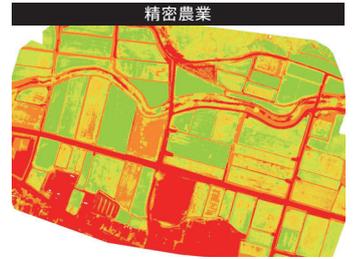
ソーラーパネルの点検・検査
目視と赤外線画像でパネルを点検し、不具合を発見します。また、電気通信系の点検・検査では、定期点検を行う際に、ミリ単位の損傷も素早く検知できます。



搜索救援活動
空撮ズームとサーモカメラが搭載されているため、離れた場所から迅速に行方不明者を発見し、最も安全な救助経路を計画できます。



建設現場の地図作成
迅速にデータを取得して正確な3次元地図を作成し、進捗状況を管理します。



精密農業
ビジュアルカメラとマルチスペクトルカメラを組み合わせ、農作物の観察をより迅速に行います。

MATRICE 210 RTKは、現場の作業を大きく変えます

■ 飛行準備は、たった数分で完了します

ジンバル取り付けプレートと機体のアームは輸送中も取り外す必要がありません。



■ 高耐久設計により、悪天候での飛行を可能に

密閉型の防水設計で悪天候にも強く、17インチプロペラと高性能モーターの組み合わせで、強風時でも安定して飛行します。



■ 信頼性の高いバッテリー

より優れた可搬性を実現するスリムなTB50バッテリーで飛行できます。



MATRICE 210 RTK システム概要



■ MATRICE 210 RTK仕様

ホバリング精度	垂直: ±0.5m、下方ビジョンシステム有効時: ±0.1m 水平: ±1.5m、下方ビジョンシステム有効時: ±0.3m
最大角速度	ピッチ: 300°/s ヨー: 150°/s
最大ピッチ角 (デュアル下方ジンバル)	Pモード: 25° (前方ビジョンシステム有効時: 25°)、Aモード: 25°、Sモード: 30°
最大ピッチ角 (シングル上方/下方ジンバル)	Pモード: 30° (前方ビジョンシステム有効時: 25°)、Aモード: 30°、Sモード: 35°
最大上昇速度	5 m/s
最大下降速度	垂直方向: 3 m/s
最大速度 (デュアル下方ジンバル)	Sモード: 64.8km/h、Pモード: 61.2km/h、Aモード: 61.2km/h
最大速度 (シングル上方/下方ジンバル)	Sモード: 82.8km/h、Pモード: 61.2km/h、Aモード: 82.8km/h
運用限界高度 (海拔)	3000 m
最大風圧抵抗	12 m/s
最大飛行時間 (ベイロードなし、TB50)	23分
最大飛行時間 (ベイロードなし、TB55)	32分
最大飛行時間 (最大ベイロード、TB50)	13分
最大飛行時間 (最大ベイロード、TB55)	24分

アクティオで、i-Constructionの導入へ。

i-Constructionは、より革命的な建設生産システムを構築するため、測量・設計から施工、管理にいたる全プロセスにおいてICT (情報通信技術) を取り入れる取り組みです。アクティオは、各種機器で積極的にi-Constructionの導入を進めています。

i-Constructionによって

- 生産性の向上** 短期間で正確な施工を実現。
- 安全性の確保** 危険な場所での人的作業を低減。
- コストの削減** 作業工程を短縮し、人件費を削減。

AKT/O

アクティオは万全のサポート体制とトレーニング体制をご用意しています。i-Construction導入のための情報化セミナーを開催しております。

株式会社 アクティオ

本社

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-12-2 朝日ビルディング7F

道路機械事業部

〒136-0075 東京都江東区新砂3-6-41 東京DLセンターオフィス棟3F
TEL: 03-6666-2262 FAX: 03-6666-1997

URL <https://www.aktio.co.jp>